

ふるさと唄紀行

石垣島名蔵湾の



沖縄本島

あんぱるぬみだがま



石垣市

宮古島

石垣島



忙しそうに宴の準備をする、いろいろな種類の蟹たち

県内各地に残る民謡やわらべうたは、懐かしい風景や

当時の暮らしぶりを伝えてくれます。

うちな〜の唄が誘う地域の旅へ、まじゅん行かな(さあ出かけまじょう)!

祭りや芸能の島「石垣」ならではの遊び心いっぱいの民謡

「あんぱるぬみだがま」

石垣島の名蔵アンパルに棲むみだ
がま(ツノメガニ)が主人公のこの唄は、
二十一番まで歌詞があり、アンパルに
生息する十五種類の蟹が次々と登場
します。芸能の準備係であるグイダー
サカン(ミナミオオガニ)に続き、棧敷
係のダーナカン(オキナワアナジャコ)
や笛吹きピンギヤカン(キンセン
ガニ)、太鼓打ちのキランカン(タイ
ワンガサミ)の他に、三線係や獅子舞・
舞踊係、給仕・見物係など、十五種類の
蟹それぞれに八重山の豊年祭や祝い
事における芸能の役割が割り当てられ
ています。

八重山の唄には、人の思いを生き物
や自然に代弁させているものが多く、
この唄では蟹をおもしろく擬人化し
ています。それぞれの蟹に、実際の祭
りと同様の役割を当てていることから、
この唄は村の祭りを取り仕切る立場
の人が作ったとされ、座を盛り上げる
ために円陣を組んで唄われたり、祭り
や芸能の準備の際にも唄われたので
はないかといわれています。

- 一、あんぱるぬ ウリ
みだがーまでんど ハイヘ
マタハイヘ マタハイヘ
マタハイヤーヌカヌスイ
潮や干しや ウリ
下ぬ家かい ハイヘ
マタハイヘ マタハイヘ
- 二、下ぬ家ウリ
瓦葺 でんどろ ハイヘ
マタハイヘ マタハイヘ
マタハイヤーヌカヌスイ
潮や満ちや ウリ
上ぬ家かい ハイヘ
マタハイヘ マタハイヘ
- 三、上ぬ家 ウリ
茅葺でんどろ ハイヘ
マタハイヘ マタハイヘ
マタハイヤーヌカヌスイ
みだがーま ウリ
生年でんどろ ハイヘ

*あんぱるは石垣島の名蔵湾に広がる湿地帯。面積157ヘクタール。
*みだがまは目高蟹(和名でツノメガニ)のこと

- (標準語訳)
- 一、網張(あんぱる)の目高蟹(だぞ) 潮が干くと下の家へ移動する
 - 二、下の家は瓦(か)ぎ(岩場)だぞ 潮が満ちてくると上の家へ移動する
 - 三、上の家は茅(か)ぎ(草場)だぞ 今日(けふ)は目高蟹の誕生日(たんじうび)だぞ

* 出典「琉球列島・島つた紀行」仲宗根幸市編著

黒潮と太陽に育まれた
日本最南端の自然文化都市

石垣市

- 面積-----228.94km²(有人島・無人島合計)
- 人口-----47,796人(平成19年5月末現在)
- 市島-----カンムリワシ
- 市花-----サキシマツツジ
- 市木-----ヤエヤマコクタン(クロキ)
- 市魚-----ハマフエフキ(タマン)
- 市蝶-----オオゴマダラ
- 市貝-----クロチョウガイ

山や海、多様な生物など、変化に富んだ自然が魅力

那覇から南西に約420キロ。日本の最南西端に位置する八重山諸島の中心が石垣島です。石垣市は、沖縄で三番目に大きな石垣島と11の無人島から構成されています。周囲約140キロの島の中心には県内で最も高い526メートルの於茂登岳(おもとだけ)がそびえ、山岳部には亜熱帯の植物、平野にはサトウキビ畑や牧草が広がります。

川平湾や世界屈指の青珊瑚を誇る白保海岸など海のみならず、



みだがま(ツノメガニ)

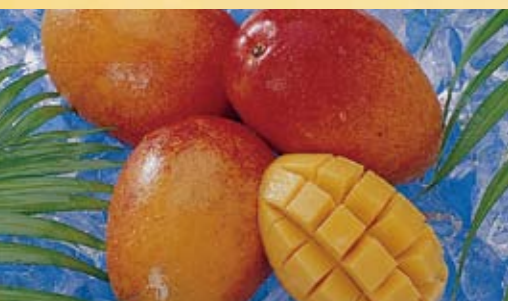
多様な鳥類や甲殻類が生息する名蔵アンパルはラムサール条約に登録されています。

農業、畜産をはじめ、歴史ある伝統工芸など魅力が多彩

亜熱帯海洋性気候を生かし、さとうきびや水稲、葉タバコをはじめ、パイナップルやマンゴー、パパイアなどの熱帯果樹が栽培され、水産業ではモズクや



お土産品として人気の高いミンサー織りアーサ、新鮮な白身魚を使ったかまぼこも人気。畜産業では高級ブランド牛「石垣牛」が有名です。他にも、琉球王府への貢納布で名高い八重山上布やミンサー織り、川平湾養殖の黒蝶真珠加工品も特色ある工芸品です。



南国の太陽をたっぷり浴びたマンゴー

祭りや各種イベントが盛んな「芸能アイランド」

石垣島は古くから祭りや芸能が生活に密着し、現在も数多く行われます。五穀豊穡を祈願し各地で行われる豊年祭や祖先供養のためのアンガマ、十六日祭やとばら一大会など、催しは多彩。また、今年で開催20回目を数えた石垣島トライアスロン大会をはじめ、石垣島マラソンなどのスポーツイベントも盛んです。



伝統行事のアンガマ



沖縄県産業・雇用拡大県民運動実施中!



沖縄県産業・雇用拡大県民運動実施中!